

盛り立てよう 県立小須戸病院

町長 岡田 六太郎

県立小須戸病院は昭和二十八年以来郡町村会の熱心な誘致運動と町民一致の奮闘により種々困難な事情を克服して三十四年四月日出度々開院の運びとなり、こゝに早くも一年有半を経過しました。その間指谷院長始め皆様の親切手厚な診療と、丁内開業医方々との円滑な連絡協働により地域の人の理解も次第に深まり、完全看護による利用も件い受診者も日を追って増加し今日に至つて居るところであります。この間、今後は私達は協力してこれを育てあげ、これを利用し保健福祉の方面に努めたいと思つて居る。また、四年度は数ヶ所病棟の新設が、財政的に苦難の赤字に伴つた。病棟局の赤字に当小須戸病院十一億余円の赤字に四千万円の赤字だけをとりあつて、おぼつかぬ不安と懸念の念を与えた。一件あたり二百万円に...

結婚改善 地につくか

新保婦人会青年会うき出す

小須戸町指定モデル市町村に指定され、新生活運動もより活発化されつつある時、新保婦人会では新しい取り組みを前に進めたいと思つて居る。その中で早稲穂青年会と結婚改善の事例を一つ一つ検討し、予定された時間内に以上も延長するの熱心な話し合いが行われた。最後は青年会より、婦人会並びに一般の人に対して、要望事項として三項目を決議し、この建設的な話し合いをおこわります。

友の会 おしくやくら栄養ある 手間のかからぬもの

クラブめぐり (其三)

常に我々は料理がへただつた。時代と共に食生活も変わつてきた。なんにかして新しい料理がなりたいと思つて居る。主婦は一家の健康のカギをにぎり重大な責任をなつて居る。そのおかげで、食事を解放されることはできない。それでは、経済的な面を考慮し、おしくやくらという人が集まつて私共のグループが生れた。町の中央に開放された公民館があり、それに調理用具の石油コンロ、鍋、食器類が一通り揃つて居る。おしくやくらだ。会員十四名、皆家庭の主婦ばかり、場所は公民館、会費百円、月一回、失敗もするが、それもまた、なんべんか分けて進んで来た。

三、式と同時に入籍する。着換えを任せ借り着る。赤字と対処に専念される事は、大いに肝要と存じます。尚、県の医療行政担当者にあつては県立病院の持つ使命を遺憾なく知事として実情を察し、その中に深く敬意を表するものであります。然し私は決して赤字がそのまゝであつてよいと、大いに今後、処する心構へは必要で、地域住民は一方、病棟局も経営改善を是正し、窓口、看護に相切を旨とし患者に對するサービス向上を計る。医療担当者は常に新しい医学と技術を体得され、赤字と対処に専念される事は、大いに肝要と存じます。尚、県の医療行政担当者にあつては県立病院の持つ使命を遺憾なく知事として実情を察し、その中に深く敬意を表するものであります。

小須戸祭り 収支決算報告

八月二十一日	五、二七七
八月二十七日	一、八八八
八月三十一日	一、四三三
合計	一、八八八、六四三
支出の部	三二、一九〇
御神輿渡り	三、一九〇
灯籠台製作費	五、三六〇
各種分配金	一、八八八、六四三
酒代	三六、〇〇〇
各組分配金	八〇、〇〇〇
宣伝費	五、〇〇〇
謝金	三、三六〇
五番町へ	二、四〇〇
バチ製作費	三、七五〇
腕章、タスキ代	二、九八〇
反省会費	一〇、六〇〇
本部費	四、七六三
合計	一八〇、三三三
差引繰越金	八、三三〇
以上	一八八、六四三



「秋」... 秋の風景を背景にした馬と騎手のイラスト。文中には「秋」の文字が複数出てくる。

第三次 自衛官募集
昭和三十五年第三次自衛官募集が開始されました。自衛官二等陸士、海士、空士の募集が開始されました。各組の募集が開始されました。募集期間は九月一日より十月十日です。十八歳以上二十五歳未満の者。試験は十月七(日)に実施されます。試験科目は(1)国語(作文含む)、(2)算術、(3)常識、(4)身体検査です。入隊は十月三十一日までです。

**明るい老後のために
加入の届出が始まります**
十月一日より国民年金加入の届出が始まります。国民年金の被保険者資格取得届出が開始されます。この届出は昭和三十六年四月一日現在で満二十歳に達する人から四十九歳に至る迄の人は一応全部の方が対象になっております。又これ以外の人で五十歳より五十四歳迄の人及び主人が会社や公務員であつて職場の年金制度に入つておられる方の配偶者等の人は、一応加入の対象より除外されておられます。加入の際には、加入料を納付する必要がある場合があります。加入料は、収入に応じて異なります。加入料の納入は、毎月、毎半年、毎一年、毎三年の4通りの方法があります。加入料の納入は、収入に応じて異なります。加入料の納入は、収入に応じて異なります。

**共同募金
町的目標額は
昨年の一割増**
昭和三十五年度共同募金の目標額は、昨年度比一割増の三億八千九百三十七万八千七百八十三円と決定されました。町民の皆様は、この目標額を達成するために、御協力をお願いいたします。募集期間は、十月一日より十一月三十日までです。募集方法は、毎月、毎半年、毎一年、毎三年の4通りです。募集方法は、毎月、毎半年、毎一年、毎三年の4通りです。募集方法は、毎月、毎半年、毎一年、毎三年の4通りです。

魂祭り
小須戸町俳句同好会
秋立つや卵生み出す今年離
雨近き風鈴の音となりけり
大早き露の月の赤々と
銀行は既に閉じたる西日かな
黒々と葉もよみがえる盆の雨
草子や子を叱りつゝ小買物
油照りつづきて米の予約済む
一杯で汗も引込む清水かな
炎天や炎ならぬ日記燃ゆ
朝霧の雨ではあるが盆の市
朝霧へ捨てし夏のはらり湯
バス去りし埃の中の大西日
輝時雨珠根出薪を打つ

- おみやげ**
八月一日
至八月三十一日
小須戸 土田タマ
小須戸 柴森明子
矢代田 木村文子
小須戸 中野末造
- おおくやみ**
八月一日
至八月三十一日
小須戸 土田タマ
小須戸 柴森明子
矢代田 木村文子
小須戸 中野末造
- 仲秋の名月を
護摩堂山頂で
観賞する会**
期日 十月五日(水)
雨天順延
会場 護摩堂山頂
参加費 参百円
持物 夕食及食器入浴用品と適す服装
出発 四時、五時二台の貸切バス利用
公民館
山岳会員まで
主催 小須戸町山岳会
後援 小須戸町公民館
- 囲碁の部**
初約六、八〇〇円
その他衣、食の支給有り
志願案内及び詳細についでは役場給務課に連絡下さい。
総務課
八月二十六日、午前九時より公民館で、小須戸町囲碁将棋クラブ主催、公民館後援で恒例の第二十五回囲碁将棋大会が開催された。大天狗、小天狗がうでによりをかき、ねばりにねばり勝ちもどこへやら優勝された人たちは次の通り。
将棋の部
一等 高橋義次郎
二等 丸山寿美栄
三等 渡辺平七
四等 高野松一
五等 須藤庄吉